

## 市民意識の把握と現況調査

---

旅客施設や周辺の道路等におけるバリアフリーの整備や問題点に対する意識を把握するため、ヒアリング、アンケート調査及びフィールドチェックを実施しました。

### 1. 江別視覚障害者福祉協会

#### 1. 日時

平成 17 年 2 月 3 日 午前 9 時 30 分～10 時 30 分

#### 2. 場所

江別市総合社会福祉センター

#### 3. 主な意見

##### (1) 駅舎全般

- ・点字の時刻表が欲しい。
- ・階段の踏み面先端に黄色の線が欲しい。

##### (2) 大麻駅

- ・駅前からの大麻出張所方面への点字ブロックの連続性が悪い。

##### (3) 野幌駅

- ・駅周辺は歩道が狭いうえに看板などが邪魔である。
- ・南口周辺はバス停や自転車が歩道を狭くしている。
- ・野幌駅周辺のバス停を集約して欲しい。

##### (4) 江別駅

- ・駅舎出入口の階段に手摺りと、降り口に点字ブロックが欲しい。
- ・駅脇の跨線人道橋の螺旋階段を無くして欲しい。
- ・ " 手摺りを細くして欲しい。
- ・ " 上り口に盲導鈴を付けて欲しい。
- ・ " 階段降り口に点字ブロックを付けて欲しい。

##### (5) 横断歩道・信号機

- ・信号機は手押しの音声誘導式にして欲しい。
- ・手押し信号機の前に点字ブロックを敷設して欲しい。

##### (6) 歩道部分

- ・歩道のレンガ舗装、グレイチング、マンホールは白杖が挟まってしまう。
- ・縦断方面の凹凸を解消して欲しい。

##### (7) 駅前広場

- ・バスやタクシー乗り場までの誘導ブロックを整備して欲しい。
- ・タクシー乗り場での歩道と車道との段差が高いので隙間に足が挟まってしまう。

## 2. 江別聴力障害者協会

### 1. 日時

平成 17 年 2 月 19 日 午後 7 時～8 時

### 2. 場所

江別市総合社会福祉センター

### 3. 主な意見

- ・野幌駅のホーム内に電光掲示案内板が欲しい。
- ・旧型電車の車内に電光案内表示を付けて次駅をわかるようにして欲しい。

## 3. アンケート調査の実施

< 高齢者・障がい者、妊婦・乳幼児同行者 >

### 1. 期間

平成 17 年 2 月～3 月

### 2. 対象

- ・高齢者、身体障がい者 1,037 人  
(障がい者手帳所持者のうち下肢機能障がい 42.8%、内部障がい 28.1%、上肢機能障がい 19.4%、視覚機能障がい 7.2%、聴覚平衡機能障がい 7.0%、他)
- ・妊婦、乳幼児同行者 112 人

### 3. 主な内容

#### (1) 駅からの経路について感じられる不便さや支障の上位

全体として上位の意見の傾向は、「歩きにくい」という言葉に集約されています。

障がい者手帳所持者の意見上位

- ・歩道の舗装が滑りやすい又は凸凹である。
- ・歩道上や交差点部に段差がある。
- ・歩道の幅が十分に確保されていない。
- ・歩道上に放置自転車や看板等があり、歩道の幅が狭められている。

(視覚障がい者 1 位)

- ・歩道が右または左に傾斜していて歩きにくい。(進行方向へのうねりについては、約 1/3 の意見数で支障としては小さい。)
- ・ベンチや公園など自由に休憩できる施設がない。(全体では 3 位)

#### (2) 駅から施設までの交通機関利用時に感じる不便さや支障の上位

自転車利用時

- ・車の通行に危険を感じる。
- ・駐輪場が少ない。

#### バス利用時

- ・運行本数が少ない。
- ・低床化されていない。
- ・目的地への路線がわかりにくい。

#### タクシー利用時

- ・バス停が遠いためやむなく利用している。
- ・車両に乗車しにくい。
- ・予約などが面倒である。

#### (3) 駅を利用する際に感じる不便さや支障の上位

- ・エスカレーターがないため不便である。
- ・エレベーターがないため不便である。
- ・階段の勾配がきつく上り下りしにくい。

#### 大麻駅

- ・トイレが不便である。
- ・緊急時の文字案内がない。
- ・車両の扉の位置がどこにくるのかわからない。

#### 野幌駅

- ・エスカレーターが無いため不便である。
- ・エレベーターが無いため不便である。
- ・階段の勾配がきつく上り下りしにくい。

#### 江別駅

- ・エスカレーターが無いため不便である。
- ・エレベーターが無いため不便である。
- ・階段の勾配がきつく上り下りしにくい。

#### (4) その他自由意見・要望

- ・冬期の除雪を十分にして欲しい。
- ・駅前広場を平坦にして欲しい。
- ・放置自転車を撤去して欲しい。
- ・トイレを広く温かくきれいにしておムツ交換台を男女トイレにつけて欲しい。
- ・女子トイレに小さい男の子用の小便器があると良い。
- ・ベビーカー、車イス用の改札口があると良い。

## 4. フィールドチェック指摘事項

フィールドチェックは、利用客数が1日平均5,000人を超える大麻駅・野幌駅・江別駅の3駅で実施し、高砂駅・豊幌駅については別途調査しました。

### (1) 大麻駅

#### 【冬期】

#### 1. 日時

平成17年2月24日 午前10時30分～11時30分

#### 2. 点検同行者(順不同、敬称略)

研究会委員

高橋建成、千葉清、石井直樹、川村朱美、村中正志、青木大祐

市民協力者

視覚障がい者及び車椅子利用者他

事務局

中川、高島、木村

#### 3. 主な意見内容

駅出入口について

(北口)

- ・誘導ブロックが磨り減っているものがあり、足の裏による把握が困難である。
- ・進行方向の手前でその先に何があるかを音声で案内してもらえると便利である。
- ・入口脇の待ち合いスペースの通路幅が狭い。車椅子では入りにくい。

券売について

(北口)

- ・券売機は車椅子にはちょっと高い。
- ・対面窓口から見おろされるようで、担当者の目線を下げられないか。

トイレについて

- ・障がい者用トイレは整備されているが、その位置がわかりにくい。(案内がない)
- ・オストメイト対応のトイレであるとなお良い。
- ・屋外トイレの入口の屋根のツララに注意が必要である。

ホーム

- ・線路側に傾斜している。
- ・案内誘導ブロックの経路が複雑なので、動線をわかりやすくして欲しい。
- ・構内に微妙な凸凹がある。

階段

- ・エスカレーターは便利だがラッシュ時などには利用しにくい。
- ・車椅子利用者が1人でも乗れるエレベーターがあると気楽で便利である。

- ・エスカレーターの乗降位置を知らせる音声案内があると便利である。

駅前広場（北口）

- ・点字ブロックがつぶれている（老朽化）ので困る。
- ・道がガタガタで歩きにくい。
- ・堆雪により道幅が狭くなっており歩きにくい。
- ・車椅子専用の駐車場があると便利である。乗り降りもし易い。
- ・マンホール周辺の除雪にバラツキがあり、凸凹になっている。
- ・除排雪を徹底しないと、車椅子では移動できない。



【車椅子とエスカレーター】

跨線人道橋

- ・連絡通路で自転車に乗っている。自転車は押して渡るように指導して欲しい。

評価と改善について

- ・駅北口は段差も無く、誘導ブロックも整備されている。
- ・トイレのスペースに問題は無い。車椅子での回転も可能である。
- ・便器の使い勝手も問題ない。便座がOの字なのは下着が引っ掛からなくて良い。
- ・階段に手すりがあると安心できる。
- ・自動ドアの音声案内が作動していない。 作動対応を行った。
- ・構内における自動ドアと歩行者動線の軸がずれている。 ずれを修正した。

## 【夏期】

### 1. 日時

平成 17 年 5 月 26 日 午前 10 時 30 分～12 時 30 分

### 2. 点検同行者（順不同、敬称略）

研究会委員

永山肇、今村教雄、高橋建成、城賢次、村中正志、青木大祐、後藤啓介

市民協力者

視覚障がい者及び車椅子利用者他

事務局

中川、高島

### 3. 調査結果

大麻駅構内について

- ・駅構内の歩道部分が老朽化し、波打っている。

駅前広場について

- ・通路のコンクリート舗装が凸凹である。
- ・駅前広場に障がい者用の駐車場が欲しい。

- ・広場内の誘導ブロックがバス停までしかなく、そこから先は何を目標にすればよいのかわからない。駅の構内から外部との連続性が必要である。
- ・駅南口には誘導ブロックがない。
- ・広場内の誘導ブロックの老朽化が著しい。
- ・広場歩道脇の駐輪スペースからはみ出した自転車が誘導ブロックの上に置かれており、通行の障害となっている。整然と置かれている分、駐輪場と勘違いされているのではないか。管理が必要である。
- ・駅前広場内の歩道を駐輪禁止とするため、駐輪場の整備が必要。

#### 跨線人道橋について

- ・スロープの勾配が急であり、車椅子利用者にはつらい。

#### 歩道について

- ・歩道路面の凍上沈下などによる局部的窪みや亀甲状のひびわれが発生している。(横断勾配が急に变化する。)
- ・レンガブロック、平板ブロックに凸凹がある。(ブロック角による段差で車椅子走行にショックが発生する。)
- ・グレイチングの取り替えが必要である。(網の目が粗く、車椅子の前輪が落ち込む。)
- ・歩道面の仕上げ材の検討が必要である。
- ・平板ブロック施工に目地を設けると、全ての人の歩行に不快感を与えたり、車椅子等にはその振動が大変負担になる。目地なしで精度の高い施工が必要である。
- ・大麻駅南口国道を渡ったところのスロープと歩道との境に水溜りができ、冬期は凍結で滑りやすくなっている。(スロープにはロードヒーティングがあり、歩道部にはヒーティングなし。)
- ・14丁目線の歩道には誘導ブロックがあるが、大麻出張所入口前に目的施設であることを示す案内ブロックがない。
- ・誘導性向上のため縁石等の材料を吟味して欲しい。

#### 誘導・案内ブロックについて

- ・駅から公共施設まで区間、誘導ブロックの連続性がない。
- ・誘導ブロック脇の歩道路面の沈下による凹みで歩き難い。
- ・国道12号の誘導ブロックを道立図書館まで整備して欲しい。
- ・誘導ブロックの突起部が車椅子(特に脊椎損傷者)利用者にとって衝撃となる。

#### 信号・横断歩道

- ・市民文化ホール(えぼあホール)前の横断歩道上にマンホールが2つあり、車椅子利用者にとっては振動やスリップの要因となり通行障害物である。
- ・駅から公民館方面に渡る手押し信号機は音声案内がなく、視覚障がい者にとっては横断のきっかけがつかめない。

#### 建物・トイレについて

- ・多様な利用者に対応するトイレが必要である。公共施設整備との連携が必要である。

- ・身体障がい者用トイレに、セルフカテーター用の洗浄装置があると良い。
- ・市民文化ホール（えぼあホール）の誘導ブロックの色が、床材と同系色で、弱視の人にはわかりにくい。
- ・大麻体育館に盲導鈴がない。
- ・大麻出張所敷地内には誘導ブロックがない。
- ・公共施設における案内誘導の仕方に見直しが必要である。
- ・ラルズの駐車場から車椅子でお店に入れるような整備をして欲しい。

その他

- ・誘導、案内のための総合案内板の整備が必要である。
- ・通路の途中などに休憩スペースが必要である。

(2) 野幌駅

【冬期】

1. 日時

平成 17 年 2 月 24 日 午前 10 時 30 分 ~ 11 時 30 分

2. 点検同行者（順不同、敬称略）

研究会委員

井筒國男、鈴木進、城賢次、高木敏雄、青木大祐、後藤啓介

市民協力者

視覚障がい者及び車椅子使用者他

事務局

稲田、早坂

3. 主な意見内容

駅出入口について

（北口）

- ・スロープをつけて欲しい。
- ・階段のバランスが悪い。（蹴上 16cm、踏面 45cm）
- ・自動ドアが望ましい。

（南口）

- ・スロープが欲しい。
- ・交差点における信号で、身体障がい者用押しボタンまで堆雪でたどりつけない。

券売機について

（北口）

- ・券売機の一部に点字がない。

トイレについて

- ・障がい者用トイレがない。
- ・点字（男女）案内がない。
- ・女性トイレ内のドアや手洗先までの誘導が欲しい。

ホーム

- ・下りホーム（旭川方面行き）は、電車のドア位置の案内がない。

階段

- ・エレベーターやエスカレーターが欲しい。
- ・乗換跨線橋に誘導ブロックがない。

駅前広場（北口）

- ・正面の横断歩道に信号機があれば助かる。
- ・北口正面の街路灯が歩行に支障をきたす。
- ・タクシー乗降場は段差があり滑りやすい。（タクシーと乗り場の間で滑りやすい。）
- ・歩道と車道の堆雪の段差が大きく歩きにくい。（冬期は歩道側が高くなっている。）

評価と改善について

- ・自動ドアの音声案内が作動していない。 作動対応を行った。
- ・ポケットティッシュ販売機のためトイレまでの通路幅が狭い。 移設対応した。
- ・階段手前（札幌方ホーム）のホーム上屋の柱が正面にある。  
柱に防護ラバーの覆いをかけた。
- ・誘導ブロックがあるが、券売機の位置がわからない。  
案内ブロックを設置した。



【防護ラバーの被覆】

## 【夏期】

### 1. 日時

平成 17 年 5 月 26 日 午前 10 時 30 分～12 時

### 2. 点検同行者（順不同、敬称略）

研究会委員

井筒國男、達智行、本間幸裕、鈴木進、西村晃一、長屋勝俊、田淵浩二

市民協力者

視覚障がい者及び車椅子使用者他

事務局

稲田、早坂

### 3. 調査結果

駅前広場について

- ・乗場の段差が大きい。（車道部と歩道部の段差が大）
- ・車椅子用の停車場、駐車が無い。
- ・駅から鉄西線に繋がる横断歩道の延長上に照明灯があり、支障がある。
- ・バス停の時刻表の位置が車椅子では高く見づらい。バス停までの誘導ブロックがない。

自転車について

- ・南口については、一部、歩道を占有しており歩きにくい。

経路及び施設

#### A 天徳寺通

- ・道路の縦断が、地先の出入口などの切り下げで、凹凸が多く波打っている。
- ・駅側から歩いてくるとバス停が電柱の陰に隠れ、わかりづらい。
- ・国道 12 号との交差点について、信号には音声誘導が無い。手押信号の歩行時間が短い。又、誘導・案内ブロックがない。
- ・マンホールの段差が激しい。

#### B 国道 12 号

- ・交差部の巻き込みで、歩道から車道に摺り付く場合、車椅子が横断歩道に直接出る前に、勾配の緩和空間が欲しい。

- ・誘導・案内ブロックがない。

C 市民体育館

- ・施設への誘導・警告ブロックがない。
- ・身体障がい者用トイレのサインがない。

D 野幌公民館

- ・出入口正面のロータリー内に障がい者用の駐車場があるが、不便な場所にある。
- ・身体障がい者用トイレのサインがない。

E 8丁目通

- ・一部、店先の看板が歩道を占有している。

その他

- ・全般には、誘導・案内ブロックがない。
- ・バリアフリーマップなどの情報が欲しい。
- ・歩道部と敷地内のグレーチングは、杖や車椅子の前輪がはまる可能性がある。

評価と改善について

- ・自転車について北口では、駐輪場に整然と収納されている。
- ・市民体育館の出入口は引き戸となっており、バリアフリー対応となっている。
- ・南口のバス停が歩道の真ん中にあり歩きにくい。

端部に移設され、歩道が歩きやすくなっている。

(3) 江別駅

【冬期】

1. 日時

平成 17 年 2 月 24 日 午前 10 時 30 分 ~ 11 時 30 分

2. 点検同行者 (順不同、敬称略)

研究会委員

佐藤克之、伊藤秀明、大工秀樹、鎌倉功、米山忠夫、梅津雅純

市民協力者

視覚障がい者及び車椅子利用者他

事務局

佐賀井、板橋、西川

3. 調査結果

駅出入口について

- ・線状 (誘導)・点状 (案内) ブロックが欲しい。
- ・インターホンがあれば一時的な対応が可能である。
- ・スロープをつけて欲しい。(雪でスロープが凸凹になるので屋根が必要である。)

券売機について

- ・券売機に行くのに 1 つの誘導で良い。(2 箇所いらぬ。)

トイレについて

- ・トイレまで誘導ブロックがない。

乗換跨線橋

- ・階段両側に手すりセンターの誘導ブロックが必要である。
- ・通路階段部の両端に貼ってあるシールを正規の向きにした方が良い。

ホーム

- ・ホームと列車の高低差がある (札幌側と岩見沢側で約 22cm の差) 列車によっては高さが異なる。
- ・車椅子の乗換昇降用機材等を用意しているが、利用にあたって手間がかかる。

評価と改善について

- ・縦型の券売機は使いにくい。 斜め型の券売機に順次変えている。
- ・券売機までの道筋に受付用紙記入用のテーブルがあって邪魔である。

テーブルの位置をずらし動線を確保している。

- ・2 ドア、3 ドア、特急タイプで乗降口の位置が異なりわかりにくい。

案内ブロックを設けると複雑になり、かえって間違いや混乱のもとになる。

## 【夏期】

### 1. 日時

平成 17 年 5 月 26 日 午前 10 時 30 分～12 時

### 2. 点検同行者（順不同、敬称略）

研究会委員

佐藤克之、松浦悟、森山準、大工秀樹、山田昌志、菊池卓、田中繁喜、小澤直正

市民協力者

視覚障がい者及び車椅子利用者他

事務局

佐賀井、平松、添田

### 3. 調査結果

跨線人道橋について

- ・西側階段が螺旋構造となっているため、視覚障がい者にとって方向を見失う場合がある。また、螺旋階段の踏面は内側が狭くなっており歩きにくい。
- ・スロープがない。
- ・手すりが太く、掴みにくい。
- ・上屋がない。
- ・階段が凍上により変形し傾斜がついており、踏み外したり滑る可能性がある。
- ・舗装面の傷みが著しい。
- ・いたるところに錆が発生しており、汚い印象を受ける。景観上もよくない。
- ・老朽化による不等沈下などにより、通路自体に捻れ等が起きている恐れがある。
- ・耐用年数はまだあるようだが、老朽化が著しく抜本的対策が必要と思われる。

駅前広場について

- ・駅舎へのスロープがない。
- ・駅舎への誘導ブロックがない。
- ・縁石が高く、擦り付けが老朽化しており、車椅子でのアクセスが不便である。
- ・身体障がい者用の車寄せもないため、車椅子での乗降が不便である。
- ・駐輪禁止区域に自転車が駐輪しており、歩行者の邪魔となっている。
- ・自転車の駐輪場外への駐輪が多く、正規の駐輪場へ誘導されていない。
- ・駅前広場が狭く、バス、タクシー、一般車で混雑している。
- ・駅周辺の交差点に音声信号がない。
- ・駅前交番の入口は段差があり、車椅子などは入れない。

駅舎内

- ・斜め型の券売機は、足を入れられないと車椅子からは手が届きにくくて操作しにくい。



【券売機と車椅子の位置関係】

#### 水道庁舎について

- ・音声案内誘導装置や点字警告ブロック等の入口案内がないため、入口がどこにあるのかわからない。
- ・トイレの照明スイッチの位置が高く、車椅子では届かない。

#### 駅周辺歩道について

- ・誘導ブロックがコミュニティセンター方面にしかない。
- ・誘導ブロックの老朽化（グレーダーによる削りもある。）で、凹凸がわかりにくい。
- ・誘導ブロックが建物側に著しく寄っており、店舗の庇や、塀が障害となり歩行しづらい。誘導ブロック上に自動販売機が設置されている箇所もある。
- ・デザイン上の理由からか、白い誘導ブロックが混じっており、弱視者にはわかりにくい。（弱視者は主に色で判別している場合が多い。）
- ・丸石で作られた、デザイン石が誘導ブロックとまぎらわしい。
- ・レンガ張りの歩道は老朽化のため、波打っていたり、空隙ができています。車椅子だけでなく、ベビーカーの走行性が非常に悪い。
- ・誘導ブロック上に駐車している車両がある。
- ・郵便局のスロープに接続する歩道は非常にきつい横断勾配がついており、車椅子での通行は不便である。

#### コミュニティセンターについて

- ・コミュニティセンター前に駐車している車両が多く、歩行の邪魔となる。
- ・コミュニティセンターへの誘導ブロック上に、花壇、マットなどが設置されている。
- ・コミュニティセンター内の受付窓口が高く、車椅子では利用しづらい。

#### 駅周辺金融機関について

- ・スロープがなく、大小の段差がある。
- ・カウンターのつくりが車椅子で利用するには少し不便である。
- ・ATMの位置が高く、車椅子からは操作画面が見づらい。

#### 評価と改善について

- ・改札からホームへのスロープがきつい。平成18年2月改修を予定している。
- ・駅舎内のテーブル(受付用紙記入台)の配置が悪く、券売機、改札への動線上好ましくない。テーブルの配置を変え、動線を確保した。

## 5 . 冬期の問題点について

フィールドチェックの結果、冬期の積雪等に係る問題点について指摘事項を以下に整理します。

	冬期
大麻地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅屋外トイレの屋根のツララに注意が必要である。</li> <li>・ 堆雪により道幅が狭くなっており歩きにくい。</li> <li>・ マンホール周辺の除雪にバラツキがある。</li> <li>・ 除排雪を徹底しないと、車椅子では移動できない。</li> <li>・ 南口歩道橋下が、スロープのロードヒーティングによる融雪水の凍結により滑りやすい。</li> </ul>
野幌地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 除排雪不足で、交差点の障がい者用押しボタンまで行けない。</li> <li>・ 歩道と車道の堆雪の段差が大きく滑りやすい。(冬期は歩道側が高くなっている。)</li> </ul>
江別地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車椅子の乗換昇降用機材等を用意しているが、利用にあたって手間がかかる。</li> <li>・ 跨線人道橋の階段が凍上による変形で滑りやすい。</li> </ul>



### 駅及び駅前広場における冬期対応課題

- ・ 歩道部の除排雪の徹底
- ・ 積雪時における横断歩道と歩道の段差の解消
- ・ 障がい者用乗降場の確保